

## 1. レッスン終わりに…

の主人公 ヒロインの側に立っている  
のヒロイン ベッドに飛び込んだ後は、ベッドの上に座りながら会話

◇部屋のドアを開ける音

【前 30 cm程度／通常】

ただいま…

◇ヒロインベッドに飛び込む音

つ、疲れたあ…

いやあ、今日のレッスンは一段と充実していたねー

えへへ、明日のライブのことを考えるとつついっレッスンにも熱が入っちゃった

(少しの間)

えーだって、明日はついに念願の初ライブなんだよ

明日来てくれる人たちのためにも、もっと良い状態に仕上げなきゃー！

つつい張り切っちゃったんだもん

(少しの間)

／素直に聞き入れている感じで

うん、わかってる、本番前なんだから本当は体を休めなきゃだね

ライブ当日に頑張りすぎて怪我とかしちゃったら元も子もないし

でも、やっぱり明日のことを考えると、いても立ってもいられなくなっちゃって…

アイドルになってステージで歌うっていう夢が明日やると叶うんだもん

確かに今日はサラッと調整くらいに抑えて明日に備えるってのはプロとして大切だと思うよ

でもやっぱり初めてのライブなんだもん、自然と体を動かしたいって気持ちになっちゃうよ

…え？「緊張してるのか」って？

えへへ、やっぱり分かっちゃうよね…

子供の頃からずーっと憧れていたアイドルとして明日ステージに立つんだって思うと、  
すごく楽しみで、ワクワクして…

体がふわあって中に浮いてしまいそうなフワフワした気持ちになるの

実はね、ここ一週間くらいずっとこんな気持ちになって、ちょっと落ち着かなかったんだ

(少しの間)

そ、そうなの？

あはは…やっぱり君にはバレちゃってたか

／＼少しおどけた感じで

さすが、マネージャー兼プロデューサーさん、担当アイドルのことは何でもお見通しなんですね！

(少しの間)

…うん、そうだよね

今のアイドル活動を始めるよりも、もう何年も前から私と君はずっと一緒にいるんだもん私が舞い上がっちゃってるのもバレバレか

私が今の事務所に入れることになったのも、

元と言えば君がマネージャーとして熱心に売り込みをかけてくれたからだったもんね

私がいっぱいアイドルになりたいって君に思い切って打ち明けた時、

真剣な顔で想いを聴いてくれて…

「俺がお前のマネージャーになってやる！」

って言ってくれた時は、びっくりしちゃったよ

でも…すっごく嬉しかった…

ふふ…でもまさか、私が今の事務所に入った後も君がそのままマネージャーになっちゃうなんて思いもしなかったけど

ねー、いくらできたばかりの小さな事務所だからって、アイドルと幼馴染の学生にマネージャーをやらせちゃうのは予想外すぎるよー

でもね…本当は、君が私のマネージャーを続けてくれるってなった時、とっても安心したんだよ？

…うん、実はいざ実際に事務所に入ってアイドル活動を始めるって決まった時は、ちょっと不安な気持ちもあってさ

「私にちゃんとできるのかな…」って臆病になっていたの…

そんな時、君がこれからもマネージャーとして私のそばにいてくれるんだってわかってすごく、勇気をもらえたんだよ

君が支えてくれたから、学校もレッスンも思いっきり頑張れた

ずっと憧れていたアイドルとしてステージに立つ夢も、もうすぐ叶えられるところまできた  
ここまで来れたのは、事務所の社長さんや事務の天乃さん、同じレッスン生みんな

そして…何より君がいつも私の近くで助けてくれたからなんだよ  
本当にありがとう

(少しの間)

え、えへへ…ライブ前でテンションがおかしくなっちゃったのかな？  
すごく恥ずかしいこと言っちゃったかも…

(少しの間)

ね、ねえ？もっと恥ずかしいお願いしてもいいかな？

うん、明日頑張れるように、初めてのライブを最高のものにできるように…  
私に、勇気をください